

卷之三

は 情 民 世
と語り、「警戒が足りない。沖縄が独立すれば、ナベトやウイグルの二の舞になる。オスプレイは防衛に有効。なぜそれはマスメディアに書かれないのか」と、新聞などの大衆的報道をうのみすることに強く警鐘を鳴らした。

加藤清隆氏が語る「世界の中の日本」 「自分で見て聞いて判断」

津法人会が総会と講演会

来したりすることの多いキーワードである。

仕事の関係で、これまで「法律・経済・金融・税務」などお堅いものが多かったのに、もう十年前からいろいろと調べたり、見学したりするようになった。

学生時代に歴史を専攻していたこともあり、三重県が平成十七年に開講した歴史的・文化的遺産活用アドバイザー養成講座に参加したのも大きな影響で、ある。

最近では、同様の専門家（ベリテージマネージャー）養成講座が建築士会主催で開講され、これもお問い合わせする所を探して山かけているだけと云われるかもしれないが、今までには「ベリテーシング」という言葉をもじってみようと思いついたことであるが、もともと不動産の鑑定評価や活用が専門であるため、いろんな場面で関わらなければならないことが多く、今では半仕事と言いまして、見廻りを続いている。

外に出ると、この十年程の間に昔懐かしい町屋や古民家等（その中には登録文化財もある）を活用したカフェや店舗が増えた気がする。

日暮相心会
き、建築士、呪
しむまち夢き觀光が流行り
市の文化財担当者
している。

理想がかなうと云ふ

そして、目的の場所へ行
くと少し前なら取り壊さ
れたであろう建物が、当時
のイメージを残して「新しい
税制をもつて、私に小さな
感動と想いを与えてくれる。
なぜこんな所に人が集ま
るのだろう」と思って行くと、
実である。

村に向けて人が動き出していく。
街道、遇害化の進む農山
人道のなかで、かたがた手を

おりたい未来の自分にきれいな歯
と口の健康を。午前先着80人、午後同20人

7日に歯の健康展

6月4日はむし歯予防の
市・津歯科医
師会など、中村仁大実行
委員会委員長。

「1階保健センター・健康
づくり室（和室）・健康相
談室」歯の健康相談

津リージョンプラザ（津市
西丸之内）で歯の健康展
「おくりたい未来の自分に
きれいな歯」が開かれる。
時間は午前10時～午後3
時まで。参加無料。

この催しは歯と口に関する正しい知識を普及・啓発
し、意識の向上を図るのが
狙いで、歯の健康相談、親
子のよい歯のコクテル審
査、図画・ポスターの作品
展示などがある。主催は
（一）栄養士による栄養相談、
（二）歯栄養指導室、親
子のよい歯のコクテル審
査、図画・ポスターの作品
展示などがある。主催は

6月4日～10日は歯と口の
健康週間。いつまでも丈夫
な歯を保つことは健康で豊
かな生活につながる。この
機会に歯の健康について考
えてもらおうと7日（日）、

10時～12時、歯科医師に
よる歯科矯正、歯周病等
の相談と80×20運動コブ
ール審査と受付12時45分
～13時。申込みは事前に
津市中央保健センター・電
話（229）3164。

定員先着20人△口脛がん検
診と10時～14時、□の中、
院学生によるフッ素塗布と
衛生指導と△素塗布と受
付10時～14時30分、歯科
医師による歯の検診、歯科
衛生士による□の衛生指
導と三重県立公衆衛生学
院学生によるフッ素塗布と
△の作品展示と△（金）
～6日（土）9時～17時。
7日（日）10時～15時。コ
ンクール表彰式は7日（日）
11時30分から。

問い合わせは歯と口の健
康週間事業実行委員会事
務局＝電話059（222
行委員会（津
市・津歯科医
師会など、中村仁大実行
委員会委員長。

（当日9時45分から栄養券
1枚で整理券を配布）。

（歯科技工士コーナー）

歯科技工士による義歯と歯
の矯正装置の洗浄やお手入
れ相談と定員先着30人。

義歯製作工程・マウスガード
の展示、健康づくり啓発、
パルーンであそぼ！

「2階健康教室」お口の
（229）3164。受付12時45分～13時。定員先
着20組。

市中央保健センター＝電話
（229）3164。受付10時～14時30分、歯科
医師による歯の検診、歯科
衛生士による□の衛生指
導と三重県立公衆衛生学
院学生によるフッ素塗布と
△の作品展示と△（金）
～6日（土）9時～17時。
7日（日）10時～15時。コ
ンクール表彰式は7日（日）
11時30分から。

問い合わせは歯と口の健
康週間事業実行委員会事
務局＝電話059（222
行委員会事務局

新聞社の歴史認識を巡る
誤報の話題に触れ、「朝日
新聞社には横極的に謝罪、
訂正する気がない。その
ために世界で日本人が非
難されている。記者に国
籍を聞いてみたい。こ
れは中国の情報戦だ」と、
同社が中国か、唐く影響
を受けていたと話した。
最後に、「正しい情報、
正しくない情報。自分で
見て、聞いて判断しましょ
う」と、さまざま情報を
多角的に取り入れて判断
することの重要性を説
いた。

入れ歯供養から寄付へ

県保険医協会

県マリナリヤ子供の家
社会福祉法人
里山学院
人聖マッセヤ
子供の家。

県保険医協会は11日
(月)と13日(水)、県内
の児童養護施設にそれぞれ
3万円計15万円を寄付し
た。

寄付を受けた5施設は、
県知的障害者福祉協議会
社会福祉法人真盛学園、工
業・農業・婦人・老人・子供の家を
田竜也事務局長らが津市
産品の聖アグスティーノの家を
訪ね、天主寺で入れ歯供養祭を行
つており、今回の寄付金は
そこで供養された入れ歯の
金属部を分析精練りサイ
クルして得られた利益の全
額。

13日、県保険医協会の小
田竜也事務局長らが津市
産品の聖アグスティーノの家を
訪ね、天主寺で入れ歯供養祭を行
つており、今回の寄付金は
そこで供養された入れ歯の
金属部を分析精練りサイ
クルして得られた利益の全
額。

会福祉法人
里山学院
社会福祉法
人聖マッセヤ
子供の家。

同協会は
毎年10月、
津市栄町の四
天主寺で入れ歯供養祭を行
つており、今回の寄付金は
そこで供養された入れ歯の
金属部を分析精練りサイ
クルして得られた利益の全
額。

会員金を手渡した。寄付
金は施設の子どもたちの活
動費に使われるという。
黒宮施設長は、事務局
長らに子どもたちの健康や
施設を案内するなどし
て互いに協力を検討し、横
のつながりを強化した。
黒宮施設長は「ネグレ
クトを受けた子どもたちの
多くには歯磨きの習慣がな
く、歯の管理は悪い。ブラ
ッシング指導などに来て頂
けるのであればありがたい」
と協力の検討に感謝を述べ
た。